法人タクシー法令試験問題

注意事項

1．試験時間は、40分間です。

2．試験開始まで、問題は開けないで下さい。

3．問題用紙は、表紙を含めて4枚です。

4．問題用紙は、持ち帰らないで下さい。

5．不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場していただくこととなります。

6．解答が終わり退場する方は、手をあげて試験官が来るまで待っていて下さい。
　試験官が許可してから、他の受験者に迷惑とならないよう静かに退場して下さい。

※　携帯電話等をお持ちの方は、必ず電源を切って下さい。

近　畿　運　輸　局

次の文章のうち正しいものには〇印を、誤っているものには×印を解答用紙に記入して下さい。

1 道路運送法の目的には、旅客自動車運送事業者の利益を保護することが含まれています。

2 道路運送法で「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいいます。

3 道路運送法では、一個の契約により国土交通省令で定める乗車定員以上の自動車を貸し切って旅客を運送する事業を一般乗用旅客自動車運送事業と規定しています。

4 一般乗用旅客自動車運送事業の事業計画には、営業区域、営業所の名称及び位置などを定めなければなりません。

5 道路運送法に規定されている一般乗用旅客自動車運送事業者の事業計画には、主たる事務所及び営業所の名称及び位置についても記載することになっています。

6 一般乗用旅客自動車運送事業の営業区域は、輸送の安全、旅客の利便等を勘案して、事業者が定める区域を単位としています。

7 タクシーの運賃料金メーター器が故障したため新しいメーター器に変更する場合、運賃及び料金の変更認可の手続きが必要になります。

8 一般乗用旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、収受した運賃又は料金の割戻しをすることができます。

9 一般乗用旅客自動車運送事業者の運送約款には、運賃及び料金の収受に関する事項を定める必要はありません。

10 スーツケース等を携行する旅客から運送の申込みがあったときには、タクシーに当該スーツケース等を積載するとその積載の方法が道路交通法違反となる場合であっても、運送の引受けを拒絶することはできません。

11 事業者が、運送の申込みを受けた順序によらずに旅客を運送することができるのは、急病人を運送する場合に限られています。

12 一般乗用旅客自動車運送事業者は、営業所の名称その他国土交通省令で定める軽微な事項に関する事業計画の変更をした際は、遅滞なく届け出なければなりません。

13 営業区域外から乗車した旅客の着地が営業区域外である場合、事業者の営業区域を通過していれば道路運送法違反ではありません。

14 道路運送法では、一般旅客自動車運送事業者に対し、輸送の安全の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならないことが規定されています。

15 一般旅客自動車運送事業者の事業について旅客の利便その他公共の福祉を阻害している事実があると認められたときは、運送約款の変更を命ぜられることがあります。

16 一般乗用旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に当該事業のために利用させることも貸し渡すこともできません。

17 一般乗用旅客自動車運送事業者が道路運送法に基づく命令に違反したときは、許可を取り消されることがあります。

18 一般乗用旅客自動車運送事業者は事業に使用する自動車の外側に使用者の氏名、名称又は記号を表示しなければなりません。

19 旅客自動車運送事業者は、安全、確実かつ迅速に運輸を遂行するように努めなければなりません。

20 一般乗用旅客自動車運送事業者は、運賃又は料金を収受した場合、旅客の請求があったときは、収受した運賃又は料金の額を記載した領収証を発行しなければなりません。

21 営業区域内において運送の申し込みがあった際、旅客から指示された目的地までの経路がわからない場合には、旅客にその旨を説明し、当該運送の引受けを拒絶してもよいことが道路運送法に規定されています。

22 業務記録には、事業用自動車の運行の業務に従事した距離も記録しなければなりません。

23 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合、一定の事項を記録し、その記録を少なくとも１年間保存しなければなりません。

24 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車内に、自動車登録番号を表示しなければなりません。

25 事業者は、その運行管理者に対し、法令に掲げる業務の適確な実行及び運行管理規程の遵守について適切な指導監督をしなければなりません。

26 旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者は、その服装について特に規定はありません。

27 大雪になりそうなので滑り止め装置を装着するために、一旦営業を中止して車庫又は営業所に回送しようとする場合、タクシー運転者は回送板を掲出して走行しなければなりません。

28 一般乗用旅客自動車運送事業者の「輸送実績報告書」は、前年４月１日から本年３月３１日までの１年間の走行キロ、運送回数等を報告するものです。

29 自動車事故報告規則の規定では、事業者が死亡者又は重傷者を生じる事故をひき起こした場合には、１０日以内に自動車事故報告書を提出しなければならないこととなっています。

30 事業用自動車を運行する者は、一日一回運行開始前に自動車を点検する義務があります。

法令試験　解答用紙

受験番号	
許可申請者 氏名又は名称	
受験者　氏名	

問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
解答欄	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×
問	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
解答欄	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
問	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
解答欄	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○